



# 高花平だより

2017. 6. 19  
第 6 号

四日市市立高花平小学校

## 自分で考え行動できた自然教室（5年生）

6月15日（木）・16日（金）、5年生の自然教室がありました。「校長先生、今度の自然教室、よろしくお願ひします。」・・・自然教室が近づくにつれ、何人もの5年生が、会うたびにこのような挨拶をしてくれるようになり、「礼儀正しい、けなげな子たちだなあ。これはいい自然教室になりそうだ。」と楽しみに思っ自然教室に出発しました。

1日目は、「自然の家」「ふれあい牧場」間のウォークラリーとカヤック体験を行いました。ウォークラリーとは、グループで歩きながら地図を見て課題を解決し、時間得点と課題得点の合計点を競う野外ゲームです。メンバーの協調性、コミュニケーション力が問われるゲームです。頼りになるのは地図とグループの仲間だけ。「あっちと違う?」「いや、こっちだよ。」スタート直後から地図を見ながら相談です。いろいろ迷いながらも力を合わせて全員がゴールしました。ライフジャケットを着用してのカヤック体験。二人乗りのカヤックなので、これも二人が協力しないとうまく漕ぐことはできません。子どもたちはすぐ上手になって「(池の水をかぶって) おしりがべちゃべちゃになったあ。」と言いながら楽しんでいました。夕食後はキャンプファイヤー。ファイヤーの炎を囲んで、楽しかった1日を振り返り、友だちとの絆を深めたひと時でした。



2日目は野外炊事。飯盒炊さんとカレーライスづくりです。水が多すぎておかゆのようなご飯になってしまったグループもありましたが、失敗も貴重な体験です。失敗から学ぶことも多いはず。うまくいかないこともある。それが体験学習のいいところなのです。大変なのは後片付け。使ったなべやまな板、飯ごうなどを自分たちで洗って水分を拭き取り、片づけます。こげたご飯がこびりついた飯ごうや油でぬるぬるのカレーなべを洗うのは一苦労です。外側のすすもしっかりと落とさなければなりません。しかし、どのグループも力を合わせていっしょうけんめいしていました。ですから、短い時間で後片付けができました。そのほか、だれも見えていないのに、ひとりでトイレのスリッパを揃えている子もいました。このようにひと知れず自分の役目を黙々と果たしている子どもたちの姿をたくさんみることもできました。



二日間の自然教室を通して、すべての子どもたちが、自分で考えて行動している姿が印象的でした。素晴らしい天候に恵まれましたが、天候以上に素晴らしい自然教室でした。

## すいえいじゅぎょうはじ 水泳授業始まる



「地獄のシャワー!」と恐れながらも、うきうきした表情で子どもたちが向かう先はプール。先週から水泳の授業が始まりました。1・2年生は「水につかったり移動したりして水に慣れる」「水に浮いたりもぐったり、水中で息を吐いたりする」、3・4年生は「いろいろな浮き方や「け伸び」ができる」「補助具を使って、キックやストローク、呼吸をしながら初歩的な泳ぎができる」、5・6年生は「クロールや平泳ぎで続けて長く泳ぐことができる」ことを目標に取り組みます。